

JA全農とちぎ 公式SNS一覧

だちつどとちぎ by JA全農とちぎ LINE

とちぎの農畜産物のおすすめ情報をお届けします！
お得なクーポンやキャンペーン情報なども配信中！



だちつどとちぎ by JA全農とちぎ Instagram

とちぎの農畜産物の美味しさを「#たちつとちぎ」の合言葉とともにご紹介♪



JAグループ栃木 担い手サポートセンター LINE

とちぎの生産者向けのお役立ち情報をお届けします！
防災メールや各種情報をタイムリーにチェック!!



とちぎの花 zennoh tochigi flower Instagram

とちぎのお花の生産者や販売店・イベント情報や季節のお花などをご紹介します！



JA全農とちぎ 栃木米 X

栃木米に関する情報やごはんに合うレシピ、産地の今を発信！
栃木米の魅力をお届けします！



もぐもぐごはん部 Instagram

ごはんに合うレシピやもぐもぐごはん部での活動など、栃木米に関する情報を発信します！



JA全農とちぎ 生活情報発信室 X

Aコープマーク品やJAふれあい食材の商品、イベントなど日々の生活に役立つ情報を発信します！



JA全農とちぎ 生活情報発信室 Instagram

Aコープマーク品やJAふれあい食材の商品、イベントなど日々の生活に役立つ情報を発信します！



JA全農とちぎ 公式Youtubeチャンネル YouTube

レシピやPR動画など、とちぎの農畜産物に関する様々おすすめ動画を発信！



とちぎ和牛若手経営者組織 『とち和会』 Instagram

『とち和会』の活動や会員紹介を中心に、とちぎ和牛の魅力や情報を発信します！



JA全農とちぎ 矢板家畜市場 YouTube

毎月の矢板家畜市場のライブ配信を行います！



JAグループ栃木・JA全農とちぎはSDGsが掲げる世界の未来に貢献しています



JA全農とちぎ
2025 事業案内
だちつどとちぎ

とちぎの味、
育てています。



JA ZEN-NOH TOCHIGI
SCOPE OF BUSINESS 2025

全国農業協同組合連合会栃木県本部 (JA全農とちぎ)
URL: <https://www.zennoh.or.jp/tc/>



公式ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋
 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- ◆ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- ◆ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- ◆ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農とちぎがめざすもの

私たちは2030年の全農グループのめざす姿として「持続可能な農業と食の提供のために“なくてはならない全農”であり続ける」を掲げ、それを実現するための6つの全体戦略を策定しています。

栃木県本部としては、本県の農業情勢や営農実態等を踏まえ、各部門における2030年のめざす姿を「栃木県本部2030年ビジョン」として策定し、着実な実践を進めています。

栃木県本部 2030年全体ビジョン

**専門性と総合力を発揮し、
 活力ある「産地とちぎ」を未来へつなぎます!**

- 私たちは、生産者・JAと共に、農業生産基盤の維持・拡大に挑戦します。
- 私たちは、変化する需要を的確に捉え、更なる販売力強化を実践します。
- 私たちは、環境保全型農業を推進し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

JAグループとは

JAグループとは、相互扶助の精神のもとに農家(組合員)の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的として構築された協同組合です。

JAグループの組織



全農の役割

全農 ZEN-NOH
 食と農を未来へつなぐ。

JAグループの中で「経済事業」を担当する私たち全農は、農畜産物の販売や生産資材の供給等の事業を行っています。会員であるJAや県連合会と協同してスケールメリットを生かした競争力ある経済事業活動を展開し、組合員の農業所得の増大や農業生産力の拡大を支援していくこと、さらにはそうした活動を通じて国民への食料供給を果たしていくことが全農の役割です。

全農栃木県本部の2025年度事業案内の発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年5月に25年ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、本年5月には同法にもとづく食料安全保障の強化を柱とする基本計画が閣議決定されました。また、国際情勢の不安定化や気候変動による異常気象の頻発化、家畜疾病の拡大などにより、食料の安定生産・安定供給に対する国民の意識や関心が高まっています。

一方で、農業生産の現場では生産者の高齢化や農業就業人口の減少に歯止めがかからず、労働力不足への対応が急務となっています。また、肥料や飼料などの生産資材価格が高止まりし、農家組合員は依然として厳しい経営環境におかれています。

このような事業環境の変化に対し、栃木県本部としては農業生産基盤の維持・拡大を一丁目一番地として、JAと一体となって担い手への対応強化や新規就農支援、スマート農業の普及・推進、生産性向上やコスト低減などの取組を強化しております。また、SDGsや環境に配慮した農業を積極的に支援するとともに、物流問題をはじめ、新たな課題や多様なニーズに迅速に対応してまいります。

また、販売面では、コストに応じた適正な農畜産物価格の実現に向けて、引き続き取引先や消費者の理解醸成に取り組んでまいります。また、消費地に近い優位性を最大限生かし、米や青果物の契約販売や実需者への直接販売の拡大、とちぎ食肉センターを起点とした牛・豚の集荷・販売の拡大、そして米やいちご・梨・とちぎ和牛の輸出促進を進め、販売力強化による生産者手取りの向上に努めてまいります。併せて、県産農畜産物の認知度向上と販売拡大に向けて、「たちつとちぎ」を合言葉とした産地とちぎのブランドの確立を図ってまいります。

さらに、「とちぎ米広域集出荷センター」の利用拡大や「総合物流センター」を核とした県域物流の効率的運営、「農機事業一体運営」といった拠点型事業の強化によるコストの削減やサービス向上を実践いたします。また、「青果物広域集出荷センター」の安定稼働により、生産振興と生産者所得の向上をはじめとする所期の目的を達成してまいります。

なお、令和7年度は県本部としてあらたな次期計画スタートの年となります。長期的な目標として掲げた「JA全農事業ビジョン2030」のめざす姿「持続可能な農業と食の提供のためにはなくてはならない全農」の実現に向けて、生産振興をはじめとする6つの全体戦略を深堀・実践し、農家組合員の負託に応えてまいります。また、令和6年から続く「令和の米騒動」を踏まえ、JAグループへの結集をより一層強化し、消費者への安定供給責任を果たしてまいります。

結びに、私たち全農栃木県本部は、「食と農を未来につなぐ」ために、変化を新たな成長のチャンスと捉え、すべては農家組合員のためという基本姿勢のもと、JAと一体となって持続可能な農業と地域社会の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

引き続き、本会事業へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



全国農業協同組合連合会栃木県本部 県本部長

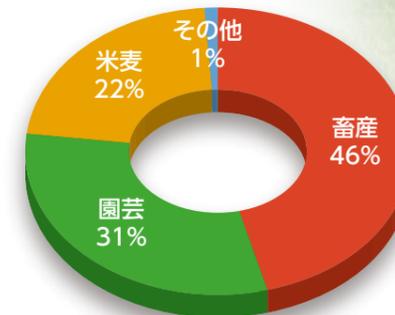
中村 昌文

栃木県は、大消費地である首都圏の北部に位置し、平坦で広い農地、豊富な水資源、穏やかな気候など、農業にとって素晴らしい条件に恵まれています。立地条件に加え、農業者の優れた技術により、半世紀以上にわたり生産量連続日本一のいちごをはじめ、米、とちぎ和牛など全国に誇れる農畜産物を生産しています。

農業産出額

※農林水産省
・2023(令和5)年 生産農業所得統計

全 国 9兆5,543億円
栃木県 2,959億円(全国10位)



栃木県の農業産出額の割合

栃木県のJA



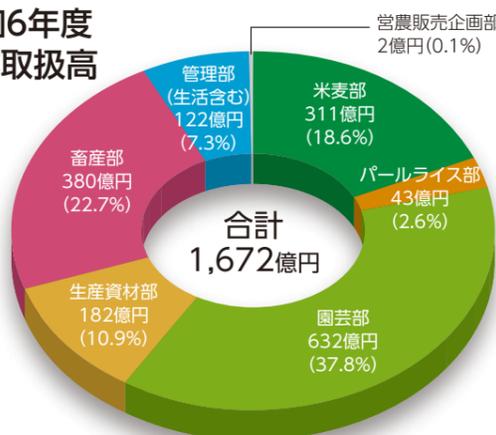
とちぎの農畜産物 全国シェア

※農林水産省
・2023(令和5)年産 作物統計調査
・2024(令和6)年2月1日現在 畜産統計調査
・2024(令和6)年産 水陸稲の収穫量

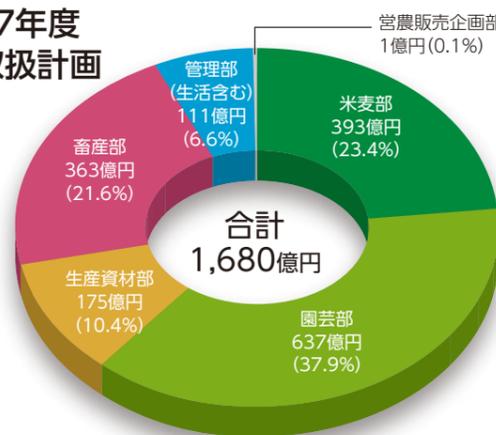
<p>いちご 第1位 生産量 24,600t</p>	<p>二条大麦 第2位 生産量 35,300t</p>	<p>米 第9位 生産量 286,200t</p>
<p>にら 第2位 生産量 8,220t</p>	<p>乳牛 第2位 飼育頭数 53,000頭</p>	
<p>梨 第3位 生産量 15,800t</p>	<p>トマト 第5位</p>	<p>アスパラガス 第6位</p>
<p>なす 第7位</p>	<p>肉用牛 第7位</p>	

部門別取扱高

令和6年度 事業取扱高



令和7年度 事業取扱計画



※パールライス部は令和6年7月に全農パールライス(株)と事業統合。

米 穀

豊かな自然が育んだ米・麦・大豆。
米どころの産地として、安心と美味しきをお届けします。



コシヒカリ
「とちほのか」

栃木県産コシヒカリは全国有数の生産量を誇り、令和6年産食味ランキングにおいて「特A」を獲得。(※東北地区) つやつや感、もちとした弾力ある粘りは“米どころ栃木”を代表するにふさわしいお米です。



とちぎの星

ぶくっと大きく、豊かな甘さが特徴的なとちぎの星。大粒で炊飯後も粒がしっかりで、冷めても美味しく、丼物やカレーなどに良く合います。

米



なすひかり

県北地域で多く栽培されている栃木県オリジナル品種。太陽の光をたっぷり浴びて大きくふくらと、そしてうまみ成分をぎゅっと粒に蓄えて、美味しいお米に育ちます。

- ・コシヒカリ「栃乃プレミア」
- ・ブレンド米「穂のキセキ」

麦・大豆



二条大麦

主要品種は「ニューサチホゴールド」。全国屈指の生産量を誇り、なかでも「ビール麦」は全国一。



小麦

「さとのそら」「イワインダイチ」「タマイズミ」「ゆめかおり」がそれぞれ用途に合わせて作付されています。



大豆

主要品種は「里のほほえみ」。豆腐や味噌などに適しています。

畜 産

県内の指定生産者がこだわりと誇りを持って育てています。



とちぎ和牛

栃木県を代表する黒毛和牛。最高級の枝肉だけに与えられる銘柄です。柔らかいサシの入った霜降り、風味豊かな味わいは肉の芸術品と呼べるほど。

牛

とちぎ霧降高原牛・日光高原牛

安全・安心な全国トップクラスの交雑牛。その肉質の良さは、市場からも高い評価を得ています。



豚



とちぎゆめポーク

脂のなめらかな舌触り、口溶け、甘さが自慢の銘柄豚。

園 芸

栃木県の代名詞「いちご」をはじめ、梨や野菜など、大消費地への近さを生かして新鮮な青果物をお届けします。



いちご

とちあいか

栃木の新たな主力品種となった「とちあいか」。大粒で酸味が少なく、甘さが際立ちます。縦に切ると断面が可愛いハート型になることも魅力のひとつです。



とちおとめ

味が濃く、甘酸っぱい、果汁たっぷりのジューシーな味わいです。



スカイベリー

甘みと酸味が絶妙なバランスの上質いちご。大きい、美味しい、美しい、三ツ星いちごです。

梨

幸水
豊水
にっこり

甘みの強い「幸水」、酸味とのバランスが絶妙な「豊水」、大玉で高糖度の栃木オリジナル品種「にっこり」。栃木の梨は、幸せ、豊かに、にっこりです。



野菜

トマト
なす
にら
きゅうり
ねぎ

とちぎの農畜産物の魅力

生産量日本一を誇る「いちご」をはじめ、全国に誇る栃木県産農畜産物の安全性や美味しさをPRするためのキャッチコピー「たちつとちぎ」。

日照量の多さや首都圏に近い立地、まじめな栃木県人の気質、手間暇かけた栽培育成、これらの旬のものを鮮度のよいままお届けできる栃木県産農畜産物の魅力。とちぎの元気を作る“4つのチカラ”を誰でも馴染める言葉でメッセージにしました。

たちつとちぎ

とちぎの農畜産物
てしおにかけてる
つくりてまじめに
ちかくてしんせん
たいようさんさん



組織の円滑な事業運営のため、コンプライアンス推進・リスク管理体制の強化、事業計画策定および目標に基づく進捗管理、資産管理などに取り組むほか、人材育成に関わる研修の実施や勤怠管理、広報活動を行っています。

物流部門では、物流コストの抑制と生産資材の安定的な戸配送を目的に県域物流を運営しています。

各課の紹介

コンプライアンス推進課

コンプライアンスに係る業務

企画管理課

経営収支管理、経理業務、広報業務

総務課

人事事務、総務、管財に係る業務

物流対策課

県域物流の運営管理、関連システムの維持管理



職員が笑顔になれる 職場環境を目指して

総務課
芝野 純也(2024年入会)



総務課では、オフィス環境整備や備品管理、会内規則の作成等を行う「総務」、採用業務や勤怠管理、給与・労務管理等を行う「人事」、固定資産管理や税務関係業務等を行う「管財」と大きく分けて3つの業務を行っています。

その中で私は管財業務を担当しており、具体的には、固定資産や賃貸借物件・リース物件の管理と、それらに関わる決裁対応や経理処理を行っています。

また、IT関係の窓口でもあるため、会内ネットワークやPC・システム関係の管理、不具合時の対応も行っていきます。幅広く、多様な業務を通じて、円滑な組織運営のためのサポート役を担っています。

多くの経験が積める半面、迅速かつ的確に行わなくてはならない仕事であることから、責任感を持って日々の業務に取り組んでいます。



©栃木県 とちまろくん

©栃木県 とちまろくん

生産者のより良い営農を 支援します

担い手支援課
岩根 柚葉(2024年入会)



担い手支援課では、農業の効率化、省力化、生産性向上、品質向上、環境保全を目的としたスマート農業の導入支援や、水田を活用した高収益作物、業務・加工用野菜の作付け提案による生産基盤の維持拡大、労働力支援に取り組んでいます。また、県内JAの営農・経済担当者および生産者に向けた研修会の企画運営を行っています。

その中で私は、圃場管理システムZ-GISや、衛星画像とAIの分析で栽培管理を支援するザルビオといったスマート農業の導入支援、研修会の企画運営を行っています。

担い手が減少し、1人あたりの生産量が増加するなか、生産効率の向上を可能とするスマート農業の重要性は今後さらに高まっていくと考えられます。こうした状況を踏まえ、生産者のニーズにお応えできるよう取り組んでまいります。



担い手の抱える多様なニーズに応えるべく、新規就農や労働力支援、営農に係る各種提案など、農業生産基盤の維持・拡大に取り組むほか、JAの経営基盤確立・強化に向けた支援も行っていきます。

また、販売部門の部門横断的企画業務や消費宣伝活動、EC事業も担い、県産農畜産物のファン獲得を図ります。

各課の紹介

総合支援課

JAの経営基盤確立・強化に向けた支援

総合販売企画課

「たちつとちぎ」の総合窓口、SNS等を活用した県産農畜産物の消費喚起、産地直送通販サイト「JAタウン」の運営

担い手支援課

担い手への営農に係る支援や提案、新規就農者支援、労働力支援



米の一大産地としての信頼と品質向上のため、消費動向や実需者の要望に合わせて、栃木県産米の取引拡大・生産体制の確立に取り組んでいます。

麦・大豆では、生産者の安定収入確保に向けて、用途別品種の生産提案や有望種の生産拡大を進めています。

産地交流も積極的に実施し、生産者と消費者の顔が見える活動も行っています。

各課の紹介

米穀課

米穀(主食用米)の販売、うるち米・もち米・酒米の精算業務、栃木県産米の広告宣伝

米麦総合課

米穀(主食用米・水田活用米穀)の集荷・生産振興、農産物検査員の育成、「とちぎ米広域集出荷センター」の運営

農産課

ビール大麦・民間流通麦・大豆・米麦大豆種子の販売・集荷・生産振興、種子や包装資材等の供給



生産者所得向上に向け 安定供給に努めます

農産課
小池 沙幸(2021年入会)



私の所属する農産課には、主にビール大麦・民間流通麦・大豆等の生産振興・集荷・販売を行う販売部門と、米麦種子・大豆種子・米麦用資材等をJAへ供給する購買部門の2つがあります。

その中で私は、米麦大豆用資材の購買部門を担当しています。紙袋やフレコン等の包装資材等の発注取りまとめや、納期の調整を行い、有利な価格で資材メーカーから仕入れ、JAを通じて組合員に供給しています。

また、近年課題となっている物流関係の合理化・作業効率化に向け、紙袋からフレコンへの移行も積極的に進めております。生産者が必要な時期に、必要な枚数を確実にお届けできるよう、包装資材の数量、納期をメーカー先・JAと連携しながら慎重に対応しています。

情勢の変化に伴い、包装資材の需給環境も変化しています。生産者へ安定的に包装資材を納品できるよう、日々の業務に励んでいます。



安全・安心の美味しい 栃木のお米をお届けします！

営業課
松本 一晟(2021年入会)



全農パールライス(株)栃木支店営業課では、品質にこだわった安全・安心で美味しい栃木県産米の商品を、全国の量販店や業務用実需者へ販売しています。合わせて、当社商品および栃木県産米の認知度・価値向上、販売促進のため、消費者に向けた多様なPRを展開しています。

その中で私は、取引先への精米販売および新規取引先の開拓を行っています。定期的に商談を実施し、価格交渉や米穀情勢・販売計画の報告等を行っています。新規取引先に対しては、量販店の市場調査、外食チェーンの食味検証等を行い、各取引先に応じた提案をしています。

また、米麦部とも連携を取りながら、実需者と産地を結ぶ産地視察等の取り組みも実施しています。

より多くの消費者へ栃木県産米の魅力を知っていただきたい、そして栃木の生産者を応援したいという思いで、日々栃木県産米の販売に取り組んでいます。



栃木県内の生産者が大切に育てたお米の仕入・精米・商品の販売までを手掛けています。

原料玄米の仕入管理や受け渡し、独自の精米工場における精米・品質管理等を担い、更には販売先のニーズに合わせた商品の提案・販売を通じて栃木県産米の認知度・価値向上を図っています。

品質にこだわった安全・安心で美味しいお米を全国の消費者へお届けしています。

各課の紹介

業務課

原料玄米の仕入・管理、受け渡し業務

営業課

外食・中食等の業務用実需者や量販店への販売・販促活動

製造課

精米工場の管理・運営

製品課

精米商品の包装

品質検査課

精米の品質管理



栃木県を代表する”いちご”を含む果実や野菜などの青果物、花きの流通・販売等を担う部署です。

生産者の手取り最大化、県産青果物のブランド力強化を目指し、卸売市場や実需者などと連携しながら契約販売の拡大や販路開拓に取り組んでいます。

また、低コスト・環境配慮型資材の普及拡大や種苗の安定供給を進めています。

各課の紹介

園芸総合課

花きの流通・販売、青果物全般の精算業務

流通対策課

野菜・果実の流通・販売・消費宣伝・生産振興

東京青果事務所

野菜・果実の販売先推進

施設運営課

青果物広域集出荷センターの運営

園芸資材課

ビニールハウスや段ボールなどの資材類の供給、種苗の生産・供給



作り続けられる 農業の実現のために

施設運営課
谷田部 裕紀(2022年入会)



私が所属する施設運営課は、「青果物広域集出荷センター」の運営並びに、野菜・果実の集荷・販売を行っています。

当センターは、県内複数JAが利用し、複数品目の選果・包装機能を担う、JAグループでは国内初の施設となります。主要5品目であるトマト・なす・アスパラガス・梨・いちごを中心に、ロットを生かした一元販売・一元配送を行っています。

その中で私は、アスパラガスの担当として、施設の運営、卸売市場との商談、産地対応などを行っています。生産者の労働時間の中で、選別・調整にかかる時間の割合は40%を超えるそうです。その手間のかかる選別機能を私たちが担い、実需者ニーズに沿ったアイテムで市場に販売することで、生産者の労力軽減・手取り最大化に貢献しています。

生産者と密接にかかわる業務だからこそ、苦労もありますが、栃木の農業の発展のため、日々業務に取り組んでいます。



生産コスト低減・労力軽減に 貢献します

肥料農薬課
荷見 柗平(2022年入会)



私の所属する肥料農薬課は、営農に欠かせない肥料・農薬を取り扱う部門です。

各肥料・農薬メーカーから仕入れ、JAを通じて生産者へ低コスト・高品質な肥料・農薬を安定的に供給できるように取り組んでいます。

その中で私は、品目担当として、主に肥料・農薬の試験に携わっています。安全で効果の高い肥料・農薬や労力軽減につながる省力剤の試験を行い、効果を確認することで、生産者の役に立つ資材を提供できるよう業務に取り組んでいます。

また、最近では異常な高温による作物の生育不良が深刻で、従来の病害虫防除・施肥に加え、高温対策資材への注目も高まっているため、それら資材の試験も行っております。

生産コストの低減、農作業の省力化に加え、環境ストレスに負けない作物づくりの一助となることを目指し、日々の業務に取り組んでいます。



生産者の労力軽減、トータル生産コスト低減に向け、肥料農薬部門では、低コスト・省力化の肥料・農薬の普及・推進を行っています。また、土壌診断に基づく適正施肥や農薬適正使用の徹底、環境に配慮した防除の実践などの普及に努めています。

農業機械部門では、ICT搭載農機の普及・推進や共同購入による低価格農機や中古農機の取り扱い拡大に取り組んでいます。

各課の紹介

肥料農薬課

肥料・農薬の受発注・普及、肥料・農薬試験、施肥や病害虫防除の提案

肥料農薬推進課

肥料・農薬の推進

農業機械課

農業機械の仕入れ・供給、実演会等の企画、JA農機センターへの推進

農機一体運営課

農機事業の一体運営化に向けた業務、広域農機センターの運営



栃木の和牛・交雑牛を 全国に

肉牛販売課 東京畜産事務所
田村 亮太(2019年入会)



肉牛販売課は栃木と東京の2拠点体制で、とちぎ和牛・とちぎ霧降高原牛・日光高原牛等の県産銘柄牛の販路拡大、生産基盤の維持拡大に向けた取り組みを行っています。栃木では、各銘柄牛の相対販売や生産現場での現地対応等、東京事務所では、東京食肉市場に出荷された県産銘柄牛のセリ販売対応等を行っています。それぞれ栃木県内、首都圏を中心とした販促活動やPR活動にも取り組んでいます。

私は東京事務所、主にセリ販売対応と出荷計画の作成を行っています。栃木県から出荷された枝肉の検品のほか、市場関係者と食肉情勢等の情報交換を日々積極的に行い、購買者のニーズに沿った枝肉の提案を行っています。

また、JAや生産者から出荷希望日や頭数の聞き取りを行い、市場との出荷調整を行いながら、適切な出荷計画の作成にも努めています。

専門的な知識や経験が求められる業務ですが、県産銘柄牛の知名度を全国に広めるため、責任感を持ち業務に取り組んでいます。



「とちぎ和牛」「とちぎ霧降高原牛・日光高原牛」や「とちぎゆめポーク」等の販路拡大に向けた取り組み、消費宣伝活動を積極的に展開し、県産ブランド牛・豚としての地位確立に努めています。

また、生産面では矢板市場上場頭数の維持拡大やキャトルセンターによる子牛頭数の確保を行い、生産基盤の維持・拡大に取り組んでいます。

各課の紹介

肉牛販売課

肉牛(とちぎ和牛・とちぎ霧降高原牛・日光高原牛等)の集荷・販売

食肉販売課

肉豚(とちぎゆめポーク等)の集荷・加工・販売、(肉牛の加工)

畜産生産課

矢板家畜市場・キャトルセンター・家畜診療所の運営



地域の皆様の生活に 寄り添います

本所暮らし支援部 栃木推進課
野口 千鶴(2010年入会)



私の所属する本所暮らし支援部東日本生活事業所栃木推進課では、地域の活性化促進のため、県内JAの直売所などを通じ、安全・安心なエコープマーク品の食品や生活必需品の供給を行っています。さらに、安全・安心・新鮮をモットーとした「JAふれあい食材」という宅配サービスを運営し、2日に1回利用者様のご自宅までお届けしています。

その中で私は、JAふれあい食材の受発注管理・物流管理・商品の選定や仕入を担当しています。仕入から供給まで一連の流れを担当させて頂いており、責任も伴いますが、やりがいのある業務です。また、内外問わず多方面との連携が必要なため、コミュニケーションを大切に業務に励んでいます。

これからも、組合員をはじめ地域の皆様の生活に寄り添い、豊かな暮らしをサポートできるよう、日々の業務に取り組んでまいります。



生活事業では組合員をはじめ地域の皆様の暮らしに必要な「エコープマーク品」などの生活用品を提供しています。また、食の安全安心、ライフライン確保のための食材宅配サービス「JAふれあい食材」も展開しています。

一級建築士事務所を設置した栃木施設農住事務所では、農業施設等の建設、提案を進めています。

各課の紹介

本所 暮らし支援部 東日本生活事業所 栃木推進課

エコープマーク品の供給、食材宅配にかかる企画・仕入れ・供給や推進業務、食材センターの管理・運営

本所 施設農住部 東日本広域施設農住事業所 栃木施設農住事務所

農業施設等の建設・提案や農住事業の展開



JA全農とちぎは、SDGsが目指す豊かな社会の実現に貢献しています。

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年に国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す全世界共通の国際的な取り組み目標です。「誰ひとり取り残さない」を基本理念に、17のゴールと169のターゲットで構成されています。本会としても、各事業活動を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境負荷低減への取り組み

水田や家畜から排出される温室効果ガスの削減



秋耕・中干期間延長の圃場実証



機能的飼料の活用・推進による牛メタンの抑制

化学肥料や農薬使用量の低減



県内堆肥を使用した肥料の開発・普及



土壌診断の活用提案

持続可能な農業に向けた取り組み

先端技術を活用したスマート農業の普及



スマート農機普及に向けた研修会の企画



Z-GISやザルビオの活用提案

担い手確保・後継者育成



後継者育成のための研修事業

地産地消の推進



地元量販店での県産フェア

物流体制・インフラ整備



規格の統一による輸送の効率化



広域集出荷施設の整備

地域社会の一員として、各種スポーツ支援や食農教育、食材提供など、さまざまな社会貢献活動を積極的に行っています。

本会事業や「食や農業」全般に関する情報発信を行い、JAグループのイメージ向上、食と農への理解を深めていただくための取り組みも進めています。

社会貢献活動

幼稚園や特別支援学校等への県産農畜産物の提供



地元プロスポーツへのスポンサー支援



農業や食の大切さを学ぶ食農教育



食を通じたスポーツ支援



広報活動

広報誌

JA全農とちぎ通信

県内の学校や自治体、関係機関、JA等へ配布している月刊誌です。全農とちぎの取り組みを広く紹介しています。

バックナンバーはこちら



担い手サポートセンター通信

県内の生産者向けの月刊誌です。県内の生産者に役立つ情報を掲載しています。

バックナンバーはこちら

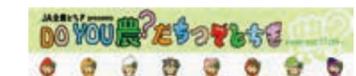


ラジオ

JA全農とちぎ presents DO YOU 農? たちつとちぎ

旬の栃木県産農畜産物の魅力や美味しさを分かりやすくお届けする番組です。本会の担当者などが出演し、その時期おすすめ情報を紹介しています。

毎水 17:15~



JAグループ栃木の「今朝も元気でいってらっしゃい」

農業やJAの理解促進のため、消費者や地域住民に向けて食や農業に関する情報をお届けします。

毎月火 7:33~



全農とちぎのSNSアカウント一覧



概要

名称：全国農業協同組合連合会栃木県本部
 略称：全農栃木県本部
 愛称：JA全農とちぎ
 住所：〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地9番地25
 電話番号：028-616-8800(代)
 設立：平成13年4月1日

昭和22年(1947年) 農業協同組合法施行
 昭和23年(1948年) 栃木県購買農業協同組合連合会(県購連)設立
 昭和23年(1948年) 栃木県販売農業協同組合連合会(県販連)設立
 昭和27年(1952年) 県購連と県販連が合併し、栃木県経済農業協同組合連合会(JA栃木経済連)設立
 平成13年(2001年) JA栃木経済連とJA全農が統合し、全国農業協同組合連合会栃木県本部(JA全農とちぎ)誕生
 平成28年(2016年) 栃木県本部事務所を現住所(宇都宮市平出工業団地)に移転

あゆみ

令和7年度 機構図

(令和7年4月現在)



- 県本部子会社**
 - 株式会社JAグリーンとちぎ
 - 株式会社ジェイエィ栃木ライフ
- 本所子会社**
 - 全農パールライス株式会社 栃木支店
- 県本部関連会社**
 - 株式会社JAエルサポート

連絡先一覧

管理部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
 コンプライアンス推進課 ☎028-616-8803 FAX 028-616-8808
 企画管理課 ☎028-616-8804 FAX 028-616-8808
 総務課 ☎028-616-8800 FAX 028-616-8808
 物流対策課 ☎028-616-8812 FAX 028-616-8808
 〒321-0414 宇都宮市中里町362-2
 総合物流センター ☎028-678-3092 FAX 028-678-3093

営農販売企画部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
 総合支援課 ☎028-616-8807 FAX 028-616-8819
 総合販売企画課 ☎028-616-8805 FAX 028-616-8819
 担い手支援課 ☎028-616-8838 FAX 028-616-8819
 〒321-4546 真岡市砂ヶ原1293
 いちごゆめファーム

米麦部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
 米穀総合課 ☎028-616-8820 FAX 028-616-8828
 米麦産課 ☎028-616-8821 FAX 028-616-8828
 農産協課 ☎028-616-8824 FAX 028-616-8829
 米穀検査協 ☎028-616-8822 FAX 028-616-8828
 〒329-1579 矢板市こぶし台2-1
 とちぎ米広域集出荷センター
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17-11 薬業ビル4階
 米穀課東京事務所 ☎03-3518-9807 FAX 03-5280-6868

園芸部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
 園芸流通課 ☎028-616-8831 FAX 028-616-8837
 園芸流通課 ☎028-616-8832 FAX 028-616-8837
 園芸資材課 ☎028-616-8834 FAX 028-616-8835
 〒321-4507 真岡市石島西裏925-2
 施設運営課 ☎0285-85-8411 FAX 0285-85-8321
 青果物広域集出荷センター
 〒321-2118 宇都宮市新里町丁字神鳥1655-1
 園芸種苗総合センター ☎028-665-7944 FAX 028-665-7947
 〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1 大田市場事務棟4階
 東京青果事務所 ☎03-5492-5341 FAX 03-5492-5346

県本部子会社



株式会社 JAグリーンとちぎ
 〒329-1105 宇都宮市中岡本町2713-1
 ☎028-671-8866
 肥料・資材の生産・加工から農畜産物などの流通全般までを担う地域密着型の総合企業です。



株式会社ジェイエィ 栃木ライフ
 〒321-0905 宇都宮市平出工業団地26-4
 ☎028-660-3300
 アトラスホールを中心としたJAの総合葬祭サービス会社です。

生産資材部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
 肥料農薬課 ☎028-616-8840 FAX 028-616-8847
 肥料農薬推進課 ☎028-616-8840 FAX 028-616-8847
 農業機械課 ☎028-616-8842 FAX 028-616-8849
 農機一体運営課 ☎028-616-8843 FAX 028-616-8849

〒321-4325 真岡市田町1356-1
 はが野広域農機センター ☎0285-83-8025 FAX 0285-84-4911
 〒328-0002 栃木市惣社町1485-12
 しもつけ広域農機センター ☎0282-29-7033 FAX 0282-29-6377
 〒321-0604 那須烏山市中山550-1
 なす南広域農機センター ☎0287-82-0055 FAX 0287-82-0011
 〒323-0053 小山市大字小袋170-2
 おやま広域農機センター ☎0285-38-2029 FAX 0285-38-2032
 〒329-1301 さくら市箱森新田589-1
 しおのや広域農機センター ☎028-612-3420 FAX 028-612-3421
 〒321-0901 宇都宮市平出町3565-1
 うつのみや広域農機センター ☎028-663-2651 FAX 028-663-2720
 〒321-0913 宇都宮市上桑島町1459-2
 トレーニングセンター ☎028-656-1061 FAX 028-656-1062

畜産部

〒321-3303 芳賀郡芳賀町稲毛田1921-7
 肉牛販売課 ☎028-689-9033 FAX 028-689-9020
 食肉販売課 ☎028-689-9022 FAX 028-689-9020
 ミートセンター ☎028-689-9022 FAX 028-689-9020
 アウトパックセンター ☎028-689-9022 FAX 028-689-9020

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
 畜産生産課 ☎028-616-8851 FAX 028-616-8854
 〒324-0403 大田原市湯津上5-778
 キャトルセンター
 〒329-1573 矢板市越畑明神前328-1
 矢板家畜市場 ☎0287-48-0350 FAX 0287-48-1509
 〒108-0075 東京都港区港南2-3-26 モンテアス品川3階301号室
 東京畜産事務所 ☎03-3471-6006 FAX 03-3471-5880

生活事業

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地26-4
 栃木推進課 ☎028-616-8855 FAX 028-616-8859

施設農住事業

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
 栃木施設農住事務所 ☎028-616-8856 FAX 028-616-8860

県本部関連会社



株式会社 JAエルサポート
 〒321-0111 宇都宮市川田町1033-2
 ☎028-633-4800
 ガス事業・石油事業・建設事業を通じて、組合員・消費者の快適な生活を支援する総合サービス会社です。

本所子会社



全農パールライス株式会社 栃木支店
 〒321-3325 芳賀郡芳賀町芳賀台198-2
 ☎028-677-4661
 生産者の方が大切に育てた栃木米の仕入れ・精米を手掛け、安全安心なお米として消費者にお届けする、国産精米取扱No.1企業の栃木拠点です。